

第 69 回

高知市文化祭

報告書

〔平成 29 年度〕



第 69 回高知市展オープニングセレモニー（平成 29 年 5 月 27 日／かるぼーと）

高知市文化祭執行委員会



目 次



高知市文化祭執行委員名簿	2
高知市文化祭主催行事	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	6
参加行事報告		
映像部門参加行事	7
演劇部門参加行事	8
音楽部門参加行事	10
舞踊部門参加行事	13
展示部門参加行事	14
文芸部門参加行事	15
その他の参加行事	16

第69回高知市文化祭執行委員会

区分	氏名	郵便番号	住所	電話	備考
芸術文化部門	映像	岡本 賀行	780-0074 高知市南金田8-7-101	090-5961-1255	高知県興行生活衛生同業組合
	演劇	北村 絵理	781-0270 高知市長浜625-6	090-4500-1867	NPO法人高知市こども劇場理事
		小林 容子	780-8052 高知市上町2-12-7	090-4973-3174	高知能楽会会長
		吉本 智賀子	780-0085 高知市礼場14-6	821-9101	劇団ゆまにて代表
	音楽	黒岩 千賀	780-8010 高知市棧橋通2-12-29-1101	090-2783-4688	高知交響楽団事務局長
		高橋 輝雄	780-8010 高知市棧橋通2-8-14	832-8417	高知県民謡協会会長
		松村 紫乃	780-8010 高知市棧橋通1-14-12	832-3348	高知県三曲協会会長
	舞踊	伊野 友美子	780-0984 高知市西久万29-7	873-4416	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所代表
		花柳 昌延	780-0834 高知市堺町7-21	875-1300	(公社)日本舞踊協会高知県支部代表
	展示	猪野 一鐘	780-8012 高知市天神町8-12	879-9333	高知県華道協和会専務理事
	文芸	上本 竹永	781-5104 高知市介良570 県住9号棟104号	860-3734	高知県漢詩連盟会長
		島 総一郎	781-0112 高知市仁井田1611-1	847-1473	高知ペンクラブ会長
	市展	下山 郁夫	781-8136 高知市一宮西町1-23-20	090-7787-1531	高知市展代表委員長
	まんが	山北 美砂子	781-8131 高知市一宮しなね2-24-74	846-3066	高知漫画集団事務局
	県立美術館	長山 美緒	781-8123 高知市高須353-2	866-8000	高知県立美術館学芸員
	文化協会	高橋 啓継	781-0270 高知市長浜146-2	841-3601	高知市文化協会事務局長
報道	高知新聞	又川 晃世	780-8572 高知市本町3-2-15	825-4051	高知新聞社学芸部長
	NHK	大塚 秋人	780-8512 高知市本町3-3-12	823-2300	NHK高知放送局放送部長
	高知放送	高木 寿隆	780-8550 高知市本町3-2-15	825-4225	高知放送取締役報道制作局長兼解説委員室長
	テレビ高知	福島 和彦	780-8577 高知市北本町3-4-27	880-1133	テレビ高知報道・技術センター次長兼報道担当
	さんさんテレビ	根岸 幸弘	780-0812 高知市若松町10-11	880-0033	高知さんさんテレビ報道制作局長
	高知新聞企業	西村 祥央	780-8666 高知市本町3-2-15	825-4328	高知新聞企業文化事業局次長兼事業企画部長

委員長 花柳 昌延

副委員長 高橋 輝雄 ・ 北村 絵理

監査 上本 竹永 ・ 山北 美砂子

第69回 高知市展

- ◇開催日 平成29年5月27日（土）～6月11日（日）
- ◇会 場 高知市文化プラザかるぽーと 7階市民ギャラリーほか
- ◇入場料 前売300円 当日400円
- ◇鑑賞者 2,741人
- ◇こどもアートまつり「あなたダビンチ ぼくピカソ」 6月4日（日）午後1時～4時
前広場テント6部門6ブース・中央公民館内3部門4ブース（計9部門10ブース）
フリーパスポート500円（482枚）



◇出品者・出品点数・イベント参加者

部 門	出品者(前回)	出品点数(前回)	北見市 交流作品	こどもアートまつり 参加ブース名	参加者数
絵 画	87 (75)	102 (93)	4 (4)	アートランド	1,200
日本画	26 (29)	29 (32)	3 (3)	プレートにお絵かきして お部屋にかざろう！	350
書 道	140 (122)	140 (122)	10 (10)	筆と遊ぼう	500
先端美術	19 (15)	19 (15)			
彫 刻	37 (34)	48 (47)		せっこうメダルをつくろう	450
陶 芸	62 (52)	111 (100)	3 (3)	粘土であそぼう	400
工 芸	42 (31)	53 (43)		あなたと私のミサンガ	200
写 真	63 (62)	102 (101)	11 (11)	カメラを作って 写してみよう	65
ペン字	94 (85)	96 (88)		なまえ美文字クリニック	280
デザイン	15 (25)	17 (28)		楽しいキーホルダー作り	435
				村岡センセイと4コマ まんがを楽しもう	59
合 計	585 (530)	717 (669)	31 (31)		3,939

第69回 高知市展 関連行事

子ども対象のイベントとは別に、部門の振興を図ることを目的に研究会や講習会を開催。

講習会

部 門	日 程	参加者	会 場	内 容	
彫 刻	全身・抽象	3/7(火)～4/2(日)	11人	絵画室	18:00～20:30の全12回
	頭 像	4/4(火)～4/30(日)	10人	彫塑・陶芸室	18:00～20:30の全15回
陶 芸	4/2(日)	20人	彫塑・陶芸室	一般の方を対象とした「一日作陶体験会」講習会作品として市展会場に展示。	
工 芸	4/16(日)	15人	和室	「丸台で組む帯締め」講習会作品として市展会場に展示。	
デザイン	4/23(日)	8人	第2学習室	「第3回まんが家体験プレまんが絵師Lesson」講習会作品として市展会場に展示。	
日本画	5/14(日)	14人	絵画室	「琳派に挑戦！第2弾！～石州和紙に描く～」講習会作品として市展会場に展示。	
絵 画	5/14(日)	8人	工芸室	「楽しい抽象画教室」講習会作品として市展会場に展示。	



研究会

部 門	日 程	参加者	会 場	内 容
先端美術	5/28(日)	60人	第3学習室	「黒瀬陽平講演会『現代美術ってなんだろう』」
デザイン	5/28(日)	約14人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
書 道	5/28(日)	約35人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
	6/10(土)	約20人		
絵 画	6/11(日)	約40人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
彫 刻	6/11(日)	約30人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
写 真	6/11(日)	約20人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
ペン字	6/11(日)	約10人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
日本画	6/11(日)	約15人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
陶 芸	6/11(日)	約20人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究



参 加 行 事

文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	3 (7)	435 (809)	90,000 (168,300)	共 催 3
演 劇	8 (8)	2,766 (2,653)	572,400 (389,300)	特別共催 1 共 催 4 後 援 1 名義共催 1 名義後援 1
音 楽	13 (16)	5,735 (6,733)	632,600 (827,600)	共 催 13
舞 踊	2 (2)	850 (1,014)	250,000 (250,000)	共 催 2
展 示	4 (4)	8,625 (7,537)	273,200 (323,700)	共 催 3 名義後援 1
文 芸	4 (3)	534 (627)	250,000 (200,000)	共 催 4
その他	4 (4)	436 (926)	179,100 (183,600)	共 催 4
合 計	38 (44)	19,381 (20,299)	2,247,300 (2,342,500)	特別共催 1 共 催 33 後 援 1 名義共催 1 名義後援 2

() 内は前回の実績数

※「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

映像部門

行事名	シネマな夜VOL.206「リリーのすべて」		
日・時	4月28日(金) 14:00～計3回		主人公は、1930年代に世界で初めて性転換手術を行った人物で、現代で言えば性同一性障害をテーマとする作品だが、そういうセンセーショナルな要素を抜きにしても、人間の心理と夫婦の愛情の変遷を描いたドラマとして見応えがあった。週末、月末、またゴールデンウィークの直前であり、観たかったけれども来られなかったという人もいたのではないかな。
会場	県立美術館ホール	入場者 170人	
主催	シネマ・サンライズ／吉川修一		

行事名	映画『強虫女と弱虫男』上映会		
日・時	6月10日(土) 13:00～計4回		日本映画の旧作上映会を、何かしらの予算的なバックボーンなしで成立させるのは結構難しい。東京ではニュープリントのフィルム上映がよくあり、恵まれているのだが。高知では、個人的にはある意味「今しかない」と言っても過言ではないと思うが、なるべく今後も陽の当たりそうになく、かつ、壊滅的な動員にならないクサイ所を突いていく上映会を、行ける所まで手探っていきたい。新藤兼人の社会派のイメージを裏切るべく、ピカレスク的にアクセルを踏み込んだフェミニズムが描かれるのではないかな、と思っていたが、重層的な加害・被害の構造にまで立ち至っていて、やっぱり社会派でも結構深いなあ、と感心した。
会場	あたご劇場	入場者 85人	
主催	MOVIE JUNKY／西川泉		

行事名	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 第30期(通算83回)上映会「シシリムカのほとりでーアイヌ文化伝承の記録ー」		
日・時	6月25日(日) 9:30～		人々の暮らしを丹念に映像に収めてきた民族文化映像研究所(民映研)の映画をみる会の上映会は30周年を迎えました。上映回数は通算83回で、研究所の作品119本全部みえています。30年前に志だけで始めた企画は、素人故に宣伝不足もあり入場者数名のこともありましたが、故姫田忠義所長の追悼上映会(「椿山―焼畑に生きる」)以降、参加者が多くなってきています。忘れられ、消えていく暮らしを見つめて記録し、映像に残してきたまなざしの確かさが映画の質の高さを解ってもらえたように思えます。31年目に向けて準備をしていきます。
会場	自由民権記念館民権ホール	入場者 180人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会/松吉恵子		

演劇部門(1)

行事名	シアターTACOGURA 011 別役実作「いかげしごむ」			
日・時	4月7日(金) 20:00~21:00 4月8日(土) 14:00~15:00 20:00~21:00 4月9日(日) 11:00~12:00(計4回)		別役実の名作「いかげしごむ」にチャレンジすることができた。演出藤岡は過去にも上演体験があったが、今回はなるべくストレートに戯曲に取り組むことを心がけた。時の犯罪史や、上演史を丹念にしらべた。上演後、トークカフェを開催し、観客たちと感想を対等にシェアできたことは、今後のわれらの取り組み、また、高知県のほかの劇団活動にも示唆深いものになったのではないかと。また、コンパクトな作品なので、再演を模索しながら、社会を考える人と交流できたらと考える。	
会場	蛸蔵	入場者		147人
主催	シアターTACOGURA／坂下直美			

行事名	高知市民劇場第326回例会 劇団銅鑼公演『からまる法則』			
日・時	5月12日(金) 18:45~20:50 5月13日(土) 13:30~15:35		劇団銅鑼は人への信頼と温かく見守る優しさを持った作品を創る劇団です。今回の作品では、人と関わるのが薄れ、人との関わりに悩むことも多くなった現代に「すすんで人とからまると良いこともあるよ」というメッセージが込められていました。高知市民劇場創立60周年記念として演出家の松本祐子さんに来高してもらいました。再々演となる『からまる〜』にける思いを多くの会員の皆さんとじっくりと聞くことができたことも作品の期待を高めることにつながりました。	
会場	オレンジホール	入場者		1,187人
主催	高知市民劇場／塩田正興			

行事名	高知市子ども劇場高学年例会 「だるま食堂の日替わりコト定食」			
日・時	5月12日(金) 19:00~20:20		笑いは元気のモト。声を出して大笑いすることは、ひと昔前に比べて今の私たちにはより必要なことになっているのかもしれませんが。女性3人のお笑いトリオ“だるま食堂”が日常のモヤモヤを笑いで吹き飛ばしてくれました。ラジオドラマと称した音声コトを間にはさみながら次々と衣装を変えての80分。思いがけないシーンで駆使する特異のコーラスには驚きの笑いが。	
会場	かるぽーと小ホール	入場者		155人
主催	特定非営利活動法人高知市子ども劇場／手嶋亜古			

行事名	喜多流回雪臺高知粟谷会春の会			
日・時	5月14日(日) 12:30~17:00		会員の高齢化もあり、発表演目数も少なくなり淋しさは感じています。しかし出演者は普段の努力の結果を十分に表現されたと思います。入場者も会員の種々の活動により、前回に近い人数となりました。今後も高知の能楽の維持、発展の為に努めます。今回も助成金など、文化祭への参加にご配慮を賜りお礼を申し上げます。	
会場	県立美術館能楽堂	入場者		180人
主催	喜多流回雪臺高知粟谷会／岡部徳治			

行事名	高知市子ども劇場低学年例会 人形劇「みてても、いい？」			
日・時	5月25日(木) 19:00~20:00 5月26日(金) 19:00~20:00		ひとりぼっちで本当はさみしいんだけど、いじわるばかりしてしまうキツネ。そんな気持ちを知ってか知らずか邪険にされながらもついていくウサギ。いつだったか出会ったことのある情景の中、だれかがそばにいてくれることがとてもステキに思えてきました。キツネのふるまいにヤキモキしながらウサギの所在を心配しながら、最後にはホッとやさしい気持ちになれたお芝居でした。	
会場	かるぽーと小ホール	入場者		282人
主催	特定非営利活動法人高知市子ども劇場／手嶋亜古			

演劇部門(2)

行事名	第29回高知能楽会大会		
日・時	6月4日(日) 10:00～16:30		<p>格式ある高知県立美術館能楽堂において、日頃の稽古の成果を発表することが出来た。技量上達を目標に継続して稽古に精励することの必要性を共感した。一方、高齢化に伴う会員数の減少に対処し、能楽の愛好者を増やすため、美術館ホールのロビーで、今年開設した能楽協会のホームページや各種チラシを活用して来場者への啓もう普及活動を行うことが出来て大変良かった。今後も能楽愛好者の拡大に向けた取り組みを続けていくことが重要と思われる。</p>
会場	県立美術館能楽堂	入場者 150人	
主催	高知能楽会／小林容子		

行事名	シャカカのお芝居 『シャカロック』		
日・時	6月10日(土) 14:00～15:00、20:00～21:00 6月11日(日) 14:00～15:00 (計3回)		<p>今回は初めての長編のオリジナル作品で本公演に臨んだ。舞台はこれまでの設営方法とは異なり会場中央に装置を配置し、客席を2方向に組むことでより作品の世界観を伝えられるように取り組んだ。入場者数が少し少なくなったがこれまで活動してきた成果がみられ、県外からのお客様の来場が多数あったことは、県外への高知の芸術の広がりにも貢献でき、今後の励みとなる公演になったと思う。</p>
会場	蛸蔵	入場者 165人	
主催	シャカカ／岡村実記		

行事名	路地裏のメモリー		
日・時	6月15日(木)～17(土) 19:00～20:30 6月18日(日) 13:00～14:30 (計4回)		<p>蛸蔵という小さな劇場で、大がかりな舞台装置、最新の照明機材で大劇場に負けないくらいの演出効果が実現された。4日間、4回公演で500名の観客動員であったが、早々にチケットの売り切れや当日券無し、また観客席を広げたにもかかわらずお客様より狭いとの声も多数あり、今後の反省にしたい。</p>
会場	蛸蔵	入場者 500人	
主催	カラクリシアター／谷山圭一郎		

音楽部門(1)

行事名	第41回おしどり会民謡発表会			
日・時	4月23日(日) 13:00～16:00			昭和52年に民謡おしどり会を設立して今年41回目の発表会を開催しました。日本の民謡を北から南へ唄い、民舞・新民踊を入れ合唱や器楽演奏を行い、日本の伝統文化を堪能しました。天気も良くお客さんも沢山入り、喜んで頂き良き一日でした。
会場	高知プリンスホテル	入場者	130人	
主催	(公財)日本民謡協会高知おしどり会／高橋輝雄			

行事名	一絃琴の調べ わくら和遊紅会演奏会			
日・時	4月23日(日) 13:30～15:30			当日はお天気も良く、例年よりも沢山の一絃琴愛好のお客様が来られ本当にありがたいことでした。又、神戸や高松で一絃琴の演奏会を開いていただける先生方が熱心にお聴き下さり嬉しい限りでした。今年は特に高知県に深い関係の、弘田龍太郎作曲の千曲川旅情の歌や岡本弥太作詞の白鳥や武政英策採譜の土佐の民謡を演奏できましたことは、嬉しいことでした。今年は、会終了後にお客様に体験学習でさくらさくらを一絃琴で弾いて頂きました。これからも続けたいと思っています。
会場	かるぽーと9階和室	入場者	60人	
主催	一絃琴わくら和遊紅会／松本遊紅			

行事名	土佐中・高等学校吹奏楽部 第52回スプリングコンサート			
日・時	平成29年4月29日(土) 17:45～20:00			1417名ものお客様に会場いただくことが出来ました。多くのお客様に満足いただけることが出来て、部員一同喜んでおります。とはいえ、まだまだ運営上のミス、演奏のミスもあり、もっとレベルの高い演奏会を目指します。
会場	オレンジホール	入場者	1417人	
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部／川崎仁哉			

行事名	第74回詩吟剣詩舞春季決勝大会 第60回優勝旗争奪競演決勝大会			
日・時	平成29年5月7日(日) 9:30～17:00			昨年比約100名。予選参加人数減となりましたが、若年者の参加は維持できており、彼らへの文化伝承が課題です。決勝大会(本大会)は例年に増して熱気が感じられました。貴会支援もあり将来に向けた体制を念願に育成を継続する所存です。今後ともご支援よろしくお願い致します。
会場	グリーンホール	入場者	400人	
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟／竹内岳南			

行事名	正曲一絃琴白鷺会 春の演奏会			
日・時	平成29年5月13日(土) 13:00～15:00			県内外より約170名のお客様をお迎えしました。新会員3名も加わり上手に弾くことが出来たと思えました。終演後、お見送り時、たくさんのお客様から「楽しい演奏でした」「良い物を見せて頂きました」等のお言葉を頂き、ほっと致しました。役割分担を細部までしていた事がスムーズな進行につながりました。会員すべてが心をひとつにして演奏でき、終わった後の達成感もあり良かったと思えました。
会場	かるぽーと小ホール	入場者	170人	
主催	正曲一絃琴白鷺会／森本和子			

音楽部門(2)

行事名 三曲演奏会			
日・時	平成29年5月14日(日) 13:30~16:00		
会場	グリーンホール	入場者	302人
主催	高知県三曲協会／松村紫乃		
<p>今回はゲストに箏・三絃・十七弦演奏家松村エリナ、尺八演奏家大河内淳矢の各師をお招きしました。いずれも今中央の第一線で活躍されている実力ある演奏家で充実感のある舞台となりました。演奏曲数はゲスト曲(プログラム外の曲1曲を含め)3曲、協会提曲2曲、協会会員提曲5曲の計10曲で、会員曲は新曲で構成しました。ご来場頂いた皆様からは好評の声が多く寄せられました。</p>			

行事名 高知交響楽団第158回定期演奏会			
日・時	平成29年5月28日(日) 14:00~16:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	588人
主催	高知交響楽団／竹内繁治		
<p>アメリカ音楽特集としてパリのアメリカ人やウェストサイド物語よりシンフォニックダンス、スターウォーズ組曲などを取り上げたことにより若い聴衆が目立った様に思う。親しみやすい音楽でもあり大変好評であったものの、オーソドックスなクラシックファンが多い高知交響楽団のお客様からは不満の声が上がった。小学校の運動会と重なり常連のお客様が多数来場できないことなども入場者数に関係あると思われ、今後開催日も考慮することが必要である。</p>			

行事名 第24回大正琴アンサンブル あじさい会の集い			
日・時	平成29年6月3日(土) 13:00~16:00		
会場	県立美術館ホール	入場者	300人
主催	大正琴あじさい会／川島節子		
<p>多くの方々のお力添えをいただき一年間学んだ成果を発表することが出来ました。今回も踊りの藤間紫公様はじめ、てづくり太鼓「祭衆」や歌手の皆様方の応援をいただき会場に参加の皆様方と、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。年を重ねるごと、継続していくことの難しさも感じますが、会員一同心一つにしてアンサンブルのハーモニーを美しく奏でることが出来、お客様とともに楽しめたことが私達の活力となっています。来年のあじさい会はお休みしますが、再来年はまた楽しい「あじさい会」ができるよう頑張りたいと思います。ご協力いただいた「生命の基金」浄財65,000円は、福祉事業団に寄贈しました。</p>			

行事名 やいろ吹奏楽団 第22回定期演奏会			
日・時	平成29年6月3日(土) 18:00~21:30		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	640人
主催	やいろ吹奏楽団／野町考司		
<p>今回も昨年と同様に、色々な企画・曲目でお客様から「楽しかった」という声をたくさんいただきました。特に2部の企画ステージでは、踊りや寸劇、のど自慢チャンピオンによる歌など、昨年よりもレベルアップした演出ができ、お客様からも大変ご好評いただきました。吹奏楽や演奏会というものに対して敷居が高いと感じている方たちにも、生演奏の迫力や面白さを味わっていただけただけのではと感じています。贈りものの対応方法など段取り不足なところもあり、演奏・演出などもまだまだ改善、向上していかなければならないことはたくさんあります。演奏会・楽団の知名度も上げ、多くのお客様にご来場していただき、そして楽しんでもらえる魅力あるステージを今後も目指していきたいです。</p>			

音楽部門(3)

行事名 高知マンドリン土曜日会 第48回定期演奏会				
日・時	平成29年6月10日(土) 18:30~21:00			京都平安京の時代を舞台にしたマンドリンオーケストラによる音楽朗読劇「朱雀門」。これは鬼と若き公家との怪奇な物語です。重厚な音の響をたのしんでいただけだと思います。また昭和の時代に駆け抜けた女性シンガーの曲などなじみのある曲もあったと思います。来年は高知マンドリン土曜日会は創立50周年を迎えます。これまで応援していただいた方々に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもよろしくお願いします。
会場	オレンジホール	入場者	446人	
主催	高知マンドリン土曜日会／前田理絵			
行事名 混声合唱団Pange 第14回定期演奏会				
日・時	平成29年6月10日(土) 18:30~20:30			全4ステージ、多彩な曲目をお届けした。16~21世紀の祈りの曲を集めた第1ステージ、日本に定着した外来歌を独特な編曲で演奏した第2ステージ、伝説のロックバンドQueenを特集しcoolなPangeを魅せた第3ステージ、そして最終ステージは木下牧子作曲の混声合唱組曲「方舟」を躍動的かつ細やかに表現した。さらに、第15回記念演奏会のために、作曲家の土田豊貴さんに制作を依頼した組曲の中から1曲披露。渾身の初演は大変好評だった。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	538人	
主催	混声合唱団Pange／山中香奈			
行事名 土佐一絃琴同好会演奏会				
日・時	平成29年6月11日(日) 13:30~15:30			江戸時代から伝わる音色を土佐一絃琴の特性として、守り伝えるべく、伝統的奏法を心がけつつ励んでおり、正曲以外にも外曲及び御来場の方々の要望にも応えたく、小学唱歌・童謡等も練習を重ね、皆様と唱和出来る様心がけ、いつもながら好評を得ています。今年から、“幕末維新博”をテーマとした“明治維新のうた”をとりあげました。少人数ではありますが、心を一つに練習にはげみたく、又一人でもお仲間を増やすことを念願としています。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	40人	
主催	土佐一絃琴同好会／野崎温子			
行事名 第58回高知県合唱祭				
日・時	平成29年6月25日(日) 10:00~16:00			全30団体(ジュニア・中学・高校・大学・一般・おかあさん)の参加でした。今年はポップスや合唱団体おなじみの曲、会場が一体となる演出をする団体もある一方で、古典曲を歌う団体もあり、各団体の個性が色濃く出る選曲となりました。お目当ての合唱団以外の演奏でも、皆さんに楽しんでいただけたようです。今年は合同合唱は定番の「花」と「大地讃頌」でしたが、会場全体で定番の合唱曲を楽しむことが出来たように思います。また、全日本合唱連盟70年記念ということで、永年にわたり高知の合唱を支えてきた「高知コーラス合笑団」、「高知センター合唱団」の両団体を合唱祭の場で表彰することができ、ベテランには高知の合唱を振り返ってもらい、学生・生徒にとっては、歴史を知る、大変良い機会になりました。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	704人	
主催	高知県合唱連盟／西本佳奈子			

舞踊部門

行事名	第61回白鷺おどり		
日・時	5月21日(日) 12:30~16:30		協会の推進する子供のおどりでは各流派から子供たち11名4曲を披露し会場を賑わせました。今回は新人・中堅・ベテランと幅広く出演し華やかに開催いたしました。コンクール入賞結果。市長賞:該当者無し。白鷺会賞:「都鳥」の若柳智香・「紅葉笠」藤間波瑠佳。高知新聞社賞:「娘道成寺」花柳里莉弥・花柳鈴珠弥。特別賞:子供のおどり推進会(11名)を決定。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 600人	
主催	高知県日本舞踊協会／花柳昌延		

行事名	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所公演「山紫」		
日・時	6月17日(土) 18:00~20:00		一年間の作品創りに今年は新たな表現を創作出来たと表現的にも、捉え幻想的だと作品が良いと評価を頂きました。表現と言う事。多くの人に観て頂ければと願います。
会場	県立美術館ホール	入場者 250人	
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所／伊野友美子		

展示部門

行事名 平成29年高知県書芸院展			
日・時	4月14日(金)～19日(水) 10:00～18:00 (最終日は16:00まで)		会員および門下生の、1年間の研鑽を発表できた。今回は、高知市文化祭参加行事に初参加となったが、今後も書道活動を通じて、文化活動の発展に寄与していきたい。
会場	高新画廊	入場者 622人	
主催	高知県書芸院／岡林御舟		

行事名 高知ばら会 春のばら展2017			
日・時	5月6日(土) 10:00～18:00 5月7日(日) 10:00～16:00		出品花数は104本、今年は3～4月の寒冷長雨の影響で開花が遅れ出品数が少なかった。入場者数は1,476人で昨年の約2倍の入場者があった。会場は常時25～30人の来客で賑わう状態で、会場が狭いとのことが多かった。コンテスト部門では「レッド・クィーン」の見事な大輪が高知県知事杯を受賞。お好きな花の投票部門では切花協会の29種155本の中から「ヴェラビータ」が最高得票を獲得した。投票の方にばら切花をプレゼントしました。会場内に設置した「ばらディスプレイ」が来場者に大好評で、入り口に設置した「ウェルカムボード」も大変おしゃれて評判が良い。ばら展では、バラの魅力は申すに及ばず、来客へのサービスやおもてなしを考えた雰囲気づくりなど、来場者にとっても大変好評で盛会でした。また、来年もたくさんのばらを集めて開催したいと思います。
会場	かるぽーと7階第4展示室	入場者 1,476人	
主催	高知ばら会／蒲原祥暢		

行事名 春のいけばな展			
日・時	5月13日(土) 10:00～18:00 5月14日(日) 10:00～17:00		さしたる事故もなく、2日間多くの来場者を得、平穩裡にいけばな展を終える事ができました。全体的にいけばな人口は高齢化しており、今後いかにして若年層への普及が私共の大きな課題となっております。
会場	かるぽーと7階第1・2展示室	入場者 2,627人	
主催	(一社)高知県華道協和会／宮田速雄		

行事名 第41回さつき花季展覧会			
日・時	5月25日(木)～28日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:00まで)		県内外及び諸外国からの来館者が3,900名あり、絶讃を受け盛況だった。外国のほとんどの方は、日本固有の「さつき」を知らず、興味と関心を寄せてくれた。今後、さらに会員相互の研修を重ね、より完成度に近い培養を継続する予定である。
会場	県立牧野植物園	入場者 3,900人	
主催	高知県さつき愛好会／毛利俊男		

文芸部門

行事名 第47回総合文芸展				
日・時	5月9日(火)～14日(日) 10:00～17:00 (最終日は16:30まで)			会場の壁面には高知ペンクラブ会員の作品を中心に(一部、一般の人々の出品した作品もあり)、短歌、俳句、詩、川柳、エッセイ、紙芝居絵などの作品約50点が趣向をこらして展示され、陳列ケースには、会員の著書、同人誌、高知ペンクラブの「高知文芸年鑑」「戦後70年それぞれの思い」「会報」のほか、県出版文化賞、寺田寅彦記念賞、高知出版学術賞の各受賞図書が展示され鑑賞者の目を引いていた。出品作品の内容が充実し、格調の高い総合文芸展となった。来年に向け、広くPRを行い、さらなる文芸の発展をめざしたい。
会場	かるぽーと7階第5展示室	入場者	276人	
主催	高知ペンクラブ／島総一郎			

行事名 第46回高知県俳句大会				
日・時	平成29年5月21日(日)9:00～17:00			今回は210人より1,042句の投句があり、選考委員の選を経て、優秀作品の表彰・講評を行い、その後入場者全員による互選の大句会を行い、会員相互の親睦と研修を行った。高齢化に伴う会員減を防ぐため、新規会員増強が必要。
会場	こうち男女共同参画センター「ソーレ」	入場者	70人	
主催	高知県俳句連盟／山本呆齋			

行事名 平成29年度帆傘川柳大会				
日・時	平成29年5月28日(日)10:30～17:30			県下全域はもとより、香川・愛媛・徳島県からの参加があり、盛会のうちの開催になった。県外選者3名、県内選者5名ともにレベルの高い選であり、質の高い大会となった。運営はスムーズに行われ、各部署の対応も慣れているものがあたり、トラブルなく予定通り終了した。会場の高知会館は音響をはじめ、ややもすると他の川柳大会で問題となるマイクなどの苦情もなかった。
会場	高知会館	入場者	108人	
主催	帆傘川柳社／小笠原望			

行事名 高知県漢詩大会				
日・時	平成29年6月17日(土) 13:00～17:00			第16回高知県漢詩大会に出品された漢詩の表彰を行い、最優秀、優秀作品をスクリーンを使いナレーション、朗読を付して芸術的に披露。特別講演として「石谷家文書に見る長宗我部元親」と題して高知県歴史民俗資料館学芸部長野本亮先生にお話しいただきました。出品全作品並びに昨年他の全国の漢詩大会に投稿し入賞した作品すべてをプログラムに掲載。また漢詩をベースとした伝統文化芸能として、来賓の皆様による「吟詠」「歌謡吟詠」も披露し、日本伝統の漢字文化芸術のすばらしさを来場の皆様に理解し興味を抱いていただけたと思います。今後とも日本の伝統文化である漢詩を、現代の詩人(作詩)とともに継承発展を図ってまいります。
会場	高知商工会館	入場者	80人	
主催	高知県漢詩連盟／上本竹永			

その他

行事名 第43回高知市教育長杯かるた大会				
日・時	平成29年6月25日(日) 10:00～15:00			期末試験等の為、高知高専や安芸中高校の参加がなく、優勝者が徳島の高校に行っている者になりました。テストがあっても何人かは参加者がいるようにしたいと思います。
会場	南部健康福祉センター	入場者	17人	
主催	高知かるた会／吉本健二			

行事名 ラボ・パーティの英語で遊ぼう！英語教育は人間教育 ～名作絵本「ふたりはともだち」編～				
日・時	6月25日(日) 13:15～15:45			今回のテーマは「親子で気持ちをこめた言葉を言う楽しさを体験する」でした。小学校の教科書にも出てくる「がまくんとかえるくん」の心温まる物語の読み聞かせは英語と日本語でしたが、みんなジッと聞いてくれました。その中に出てくるセリフをまずは日本語で、そして、言いたい人は英語でも言ってみました。怒ったがまくんになりきって、楽しんでもらいました。外国のカエルの歌やかたつむり(シート)君に乗って、手紙を運ぶレース、そして、かえる君との写真撮影など親子の笑顔があふれていました。来年度は少し年齢を下げて、絵本と英語を楽しむ会を計画しています。
会場	県民文化ホール第5多目的室	入場者	19人	
主催	高知ラボ・パーティ／岩本真理			

行事名 三里文化祭				
日・時	6月11日(日) 13:00～17:00 6月18日(日) 13:00～17:00			参加グループの高齢化で三里友の会が解散に追い込まれ、今年は新グループとして春友会を立ち上げました。不安もありますが、文化推進の為に頑張り、皆で力を合わせ、三里文化祭の灯を消さないよう努力精進したいと思います。
会場	三里文化会館	入場者	400人	
主催	三里文化推進春友会／平石真知子			

行事名 参加興業映画				
日・時	4月1日(土)～6月30日(金)			入場者内訳 (邦画) 4月1日～4月14日「永い言い訳」668人 5月2日～7月7日「家族はつらいよ2」2,397人 6月3日～7月14日「花戦さ」2,575人 (洋画) 4月14日～4月28日「グレートウォール」867人 4月21日～7月21日「美女と野獣」22,191人 ※「美女と野獣」の大ヒットにより入場者が大幅UP！
会場	あたご劇場/TOHOシネマズ高知	入場者	28,698人	
主催	高知県興行生活衛生同業組合			